

2020-1 路面標示

2020年 第一回

登録標識・路面標示基幹技能者講習(路面標示)

修了試験問題

修了試験実施日:2020年11月13日

修了試験実施場所:富士教育訓練センター

登録基幹技能者講習実施機関:一般社団法人全国道路標識・標示業協会

注意事項

- ① 携帯電話は電源を切り靴の中に入れてください。
- ② 試験問題は係員の指示があるまで開けないでください。
- ③ 解答用紙に受験番号と氏名を明記してください。
- ④ 正解と思うものを番号で解答用紙に記入してください。
- ⑤ 試験開始から30分が経過するまで及び試験終了10分前から終了時刻までは退出することができません。
- ⑥ 試験問題は、持ち帰ることができます。
- ⑦ 質問がある場合は静かに挙手をし、係員の指示に従ってください。
- ⑧ 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き係員の指示に従ってください。
- ⑨ 解答は、試験終了後1週間以内に全標協ホームページにて公開します。
- ⑩ 合格発表は令和2年12月25日に全標協ホームページに掲載します。

一般社団法人全国道路標識・標示業協会

問1

登録基幹技能者に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 登録基幹技能者は、厚生労働大臣の登録を受けた機関が実施する技能者講習を修了することにより認められる。
- ② 建設技能労働者をめぐる課題としては、適正な評価及び若年層の入職、処遇改善、技能者の定着などが挙げられる。
- ③ 登録基幹技能者は、効率的に現場作業を進めるためのマネジメント能力に優れた技能者である。
- ④ 工事の品質向上、建設業界の担い手確保、育成に寄与するためには、この制度の認知度の向上、5年ごとの更新講習による能力水準等の確保が必要になる。

問2

登録基幹技能者に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 登録基幹技能者を確保、育成及び活用することにより、生産性向上や品質確保のみならず、基幹技能者を雇用・育成する優良な専門工事業者の受注機会の拡大が図られることが期待されている。
- ② 登録基幹技能者講習を受講するには、業種に応じた資格と5年以上の実務経験、3年以上の職長実務経験の要件を満たす必要がある。
- ③ 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」(品確法)においては、その目的及び基本理念に、担い手の中長期的な育成及び確保の促進が加えられた。
- ④ 職業能力基準の到達を測る目安は、登録基幹技能者では、高度な技術力を有し、他職種との調整や品質、原価、工程、安全、環境など施工における総合的な管理ができることである。

問3

登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① グループ全員に目標を明確に示し、部下の意見提案にも耳を傾け、目標達成に向けチーム全体をまとめる。
- ② 職務に関する技術提案等を積極的に行い、全体の成果に結びつける。
- ③ 原価管理に係る基本的な知識を有し、常にコスト意識をもって行動する。
- ④ 他職種とのコミュニケーションや相互信頼よりも、自分の立場や知識・経験に基づくリーダーシップを優先する。

問4

登録基幹技能者によるOJTに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 安全具は、自分の命を守るため極めて重要なものであり、正しく装着されていることは、他人に頼らず、自分が必ず確認する。
- ② 知識だけでなく、事例を話して理解させ、体験させて納得させる、知識・事例・体験の「三位一体」で教える。
- ③ 現場入場に際しては、新規入場者教育を受け、現場での約束ごとは必ず守る。
- ④ 挨拶は、みんなに聞こえるように、明るく爽やかにする。

問5

建設業法に定める用語の定義に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「元請負人」とは、下請契約における注文者で建設業者であるものをいう。
- ② 「発注者」とは、建設工事(他の者から請負ったものを除く。)の注文者をいう。
- ③ 「下請負人」とは、下請契約における請負人のことである。
- ④ 「建設業」とは、元請負人として、建設工事の完成を請け負う営業をいう。

問6

労働安全衛生法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 特定元方事業者の労働者と関係請負人の労働者が同一の場所において作業することによって生ずる労働災害を防止するために、統括安全衛生責任者を選任し、その者に元方安全衛生管理者の指揮をさせる。
- ② 労働基準監督署長は、労働災害を防止するため必要があると認めるときは、事業者に対し、安全管理者の増員又は解任を命ずることができる。
- ③ 事業者は、労働災害を防止するための管理を必要とする作業で、政令で定めるものについては、労働基準監督署長の免許又は登録を受けた者が行う技能講習を修了した者のうちから作業主任者を選任しなければならない。
- ④ 総括安全衛生管理者は、安全管理者、衛生管理者又は技術的事項を管理する者への指揮をしなければならない。

問7

道路法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 道路標識及び区画線は、道路附属物として定められている。
- ② 道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。
- ③ 道路管理者は、道路の構造を保全し、又は交通の安全と円滑を図るため、必要な場所に道路標識又は区画線を設けなければならない。
- ④ 道路管理者は、道路の構造を保全し、又は交通の危険を防止するため、区間を定めて、道路の通行を禁止し、又は制限することができる。

問8

道路交通法に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「道路における交通の安全と円滑を図る」ことは、道路交通法の目的の一つである。
- ② 道路交通法における「道路」とは、「道路法第2条第1項に規定する道路及び道路運送法第2条第8項に規定する自動車道」と定められており、一般交通の用に供される道路でも林道、私道などは含まれない。
- ③ 道路標識又は道路標示の種類、様式、設置場所等は内閣府令・国土交通省令(標識令)で定めることになっている。
- ④ 交通規制の権限は、都道府県公安委員会が有している。

問9

標識令に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 平成12年の改正では、歩行者用案内標識として「エレベーター(121)」、「エスカレーター(122)」等6種類が新設、追加された。
- ② 平成16年の改正では、高速道路等における自動二輪車二人乗り規制が見直されたため、廃止されていた「大型自動二輪車及び普通自動二輪車二人乗り通行禁止(310の2)」が再び登場している。
- ③ 平成26年の改正で、規制標示「環状交差点における左折等の方法(111の2)」が追加されているが、同標示は環状の交差点には設置しなければならない。
- ④ 平成29年2月の改正では、全国の高速道路をわかりやすく案内するため「高速道路番号(118の3)」標識が新設された。

問10

道路標識設置基準に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 道路標識設置基準は、道路標識の整備に関する一般的技術基準を定め、その合理的な計画、設計、施工及び管理に資することを目的としている。
- ② 重要物流道路以外の道路における片持ち式・門型式の標示板の設置高さは、5.0mを標準とし、標準によりがたい場合であっても、4.7m以上とすることが望ましい。
- ③ 画像表示用装置には道路標識を表示することができ、道路標識と同時に文字を表示することも可能である。
- ④ 地図を附置した案内標識は、鉄道、バス、空港等の乗換えが想定される交通結節点等に設置する。

問11

「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 自転車のピクトグラムは、法定外表示のため、標識令で定められた道路標示「普通自転車歩道通行可(114の2)」と類似したデザインとしない。
- ② 矢羽根型路面表示が車道外側線と重なる場合には、車道外側線の下に重複させて設置することができる。
- ③ 夜間の視認性を向上させる必要がある場合には、矢羽根型路面表示の縁に白線を設置する等の対応をとるものとする。
- ④ 自転車専用通行帯を示す帯状路面表示は、色彩は青色系を基本とし、自転車専用通行帯の全部を着色するものとする。

【施工管理・施工計画】

問12

施工管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 施工管理は請負契約を確実に履行するための手段で、最初に施工計画を立案して、品質、原価、工程、安全、環境保全等の各施工計画を作成する。
- ② 品質管理は、所定の仕様どおりに施工されているかチェックをし、工程の節目や完了時に検査を行う。
- ③ 品質と工程の関係は、品質の良いものを求めると時間がかかり、施工速度は遅くなる。
- ④ 工程と原価の関係は、施工速度を上げれば上げるほど原価は安くなる。

問13

施工計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 工程計画は、工事に必要な作業可能日数、平均施工量、作業日程の算定を行い、実施工程表を作成する。
- ② 本工事を実施するため必要な工事用施設を設ける仮設工事には指定仮設と任意仮設があり、いずれも設計変更の対象となる。
- ③ 出来形管理は、工事目的物が設計図に示された形状と寸法を満足しているか確認をし、信頼度の高いものを完成する管理である。
- ④ 現場内から発生する廃棄物を排出するとき、「マニフェスト制度」を利用して、不法投棄がないように適正に廃棄処分をする。

【工程管理・資材管理】

問14

工程管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 作業可能日数は、休日、天候その他に基づく作業不可能日数を工期日数から差し引いて推定する。
- ② 作業可能日数算定の調査事項は、降水量、降水日数、積雪日数、気温(最高、最低、平均)、地質、土質、作業現場の位置等である。
- ③ バーチャート工程表は、各作業の所要日数と工種間の関係が把握できる。そのため複雑な工事に活用できる。
- ④ ネットワーク工程表は、作業を実線で表示する「アロー式」と、作業を丸印で表示する「サークル式」がある。

問15

資材管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 資材の搬入方法や時期は、工事の進捗状況によって変わる要素が多い。搬入計画の調査や資材置場・倉庫の確保は、工事開始後にする。
- ② 資材は、設計図書どおりに製作されているかどうかを現場搬入前に工場等において立会検査を行う。
- ③ 資材の購入に当たり、工事数量は設計図に基づく見込み数量であり、施工に必要な数量は施工図から算出する。
- ④ 搬入計画において、一般公道を利用するときは、道路管理者、警察、地元関係者等との協議が必要な場合がある。

【原価管理】

問16

原価管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 数量の確認は、設計図書から数量を拾い出す場合と元請から数量を渡される場合がある。
- ② 工事積算を精密に行うためには、工事内容を伝える契約書、設計図、仕様書等を理解する必要がある。
- ③ 原価要素は、建設工事では、材料費、経費、外注費の3要素に分類するのが一般的である。
- ④ 土工事では、土の積込み土量を計算するが、土質によって土量が変わることに留意しなければならない。

問17

品質管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 建設物は一品生産で個別性が強く、評価の対象となる特性は多様である。
- ② 施工者が発注者に対する品質保証は、契約の中に「瑕疵担保責任」として明文化されている。請負人は施工の瑕疵について、引渡し後2年間は瑕疵の責任を負う。
- ③ 品質特性は、できるだけ具体的な数字で表示されることが望ましく、それを品質特性値という。
- ④ 施工品質を確保し向上させるためには、可能な範囲で作業の標準化を図ることが必要である。

問18

品質管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 管理図とは、時間経過による品質特性値の変化を把握し、測定した値のばらつきを管理するものである。
- ② 品質管理とは、「買い手の要求に合った品質の物又はサービスを経済的に作り出す」とことと定義されている。
- ③ 品質の問題は、いろいろな要素が複雑に絡み合っている。品質を向上させるために、関係者が集まってブレインストーミングを実施することもある。
- ④ 品質には、設計段階で定められる設計品質(出来ばえの品質)と、施工段階で実現する施工品質(ねらいの品質)がある。

問19

安全管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 施工者が安全対策上の重要課題としているのは、安全意識の高揚、ヒューマンエラー対策、安全経費の確保、安全衛生教育等である。
- ② 「ハインリッヒの法則」によると、1件の重大災害(死亡・重傷)が発生する背景には、19件の軽傷事故と100件のヒヤリ・ハットした傷害のない災害があるとされる。
- ③ KY活動における安全指示は、マンネリ化させない工夫が必要である。
- ④ 公道上での作業域においては、通行車両の進入を防止するため、囲い、柵、ガード等の保安設備を設置し、誘導員を配置する。

問20

安全管理に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 労働安全衛生法が定める作業員が守るべき義務としては、安全状態の保持、無資格就労の禁止、保護具の着用、危険行動の禁止などがある。
- ② 元請業者は、新規に就労する作業員に対して、現場の状況や作業内容等を周知させるため新規入場者教育を実行しなければならない。
- ③ 労働災害が発生した場合、その会社は民事責任や行政責任を負うことがあるが、刑事責任は現場の責任者や作業員に限られる。
- ④ 安全施工サイクルは、現場の日常業務の中に安全活動を組み入れるものであり、安全朝礼、作業前点検、安全パトロール、後片付け、終業時点検等がある。

問21

路面標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 路面標示の設置の根拠は「道路法」及び「道路交通法」などに規定されている。
- ② 道路標示は、道路標識との関係が深く、規制の種類により、道路標識と道路標示の双方を設置するものと道路標示のみ設置するものがある。
- ③ 路面標示は、区画線では白色、道路標示では黄色が用いられている。
- ④ 区画線は、道路の構造を保全し、又は交通の安全と円滑を図るため、必要な場所に設けなければならない。

問22

路面標示の種類に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「右左折の方法(111)」は指示標示である。
- ② 「歩行者横断指導線(104)」は区画線である。
- ③ 「車道外側線(103)」は区画線である。
- ④ 「専用通行帯(109の6)」は規制標示である。

問23

路面標示の設置計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 道路は歩行者、軽車両、高速車の区分が構造上分離できない場合は、路面標示による分離を図るのが効果的である。
- ② 車線幅員は、2.75m、3.00m、3.25m、3.50mの4段階と定めている。
- ③ 車線幅員の取り方で、「車線境界線(102)」は、その線の中心から車線をとる。
- ④ 「車道中央線(101)」は、車道の中央に白色の実線で設置する。

問24

路面標示の設置計画に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 単路部における路面標示は、歩道の有無、車道外側線による歩行者の安全の要不要等を調査検討して設置位置を決める。
- ② 「車道外側線(103)」は、車道に接して舗装路肩があり、路肩と車道との境界が色彩等によって明確に判別できるときは設置しない場合もある。
- ③ 「横断歩道(201)」は、バス停留所付近では、利用者の利便性を考慮して、なるべく直前又は直後に設置する。
- ④ 交差点部においては、付加車線、特に右折車線は積極的に設置すべきである。

問25

区画線に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「車道中央線(101)」(実線2本)の実線間隔は、0.20mである。
- ② 「車道中央線(101)」は、車道の幅員が5.5m以上の区間内の中央に設置する。
- ③ 「車線境界線(102)」は、4車線以上の道路の車線境界線を示す必要がある区間に設置する。
- ④ 「車線境界線(102)」(実線)の幅は、0.10～0.15mである。

問26

規制標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「進路変更禁止(102の2)」を設ける場合は、道路標識と道路標示双方を設置する。
- ② 「停止禁止部分(107)」は、色彩は白色で、寸法は状況に応じて異なる。
- ③ 「路側帯(108)」の幅は線の内側から路端までとする。幅員は、原則として1.5m以上とする。
- ④ 路線バス等の優先通行帯を設ける場合は、道路標識の設置を原則とし、併せて道路標示「路線バス等優先通行帯(109の7)」を設置する。

問27

規制・指示標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「横断歩道(201)」の幅員は、原則として4m以上とする。ただし、歩道のない幅員の狭い道路で横断歩行者の少ない場所でも3mを限度とする。
- ② 「斜め横断可(201の2)」は、歩行者がスクランブル信号制御交差点において斜めに横断できることを指定した場所に設置する
- ③ 「普通自転車歩道通行可(114の2)」等で使用する自転車シンボルマークの寸法は、縦0.8m、横1.2mである。
- ④ 「直角駐車(113)」の表示方法は、区画線の幅0.15m、駐車区画の長さ5.0m、幅2.75mが標準である。

【道路標示の材料・施工】

問28

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 1種(常温)塗料には水系塗料、溶剤系塗料と粉体系塗料があり、溶媒である水や溶剤を練り合わせて使用する。
- ② 1種(常温)の路面への固着機構は物理的接着である。
- ③ 2種(加熱)の溶剤系塗料は、合成樹脂、着色顔料、体質顔料に添加剤を添加して有機化合物と練り合わせたものである。
- ④ 2種(加熱)の水系塗料の乾燥硬化は、水の揮発に続いて造膜助剤の作用によって塗膜が硬化するものである。

問29

路面標示に使用される材料に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 3種(熔融)塗料の構成は、着色顔料、充填材、ガラスビーズ及び合成樹脂を主な原料としている。
- ② 視覚障害者用道路横断帯道路標示は、突起体により、正確な歩行位置、歩行方向を案内する黄色の標示である。
- ③ カラー(熔融)塗料は熱可塑性混合物で、加熱(180℃～200℃)して流動状態にし、路面に塗装する。
- ④ 貼付型路面標示材はカラー化されたものが広く利用され、耐候性に優れたデジタル印刷によるグラフィックサインも採用されている。

問30

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 1種(常温)塗料の低温造膜性試験はBのみに適用される試験である
- ② 1種(常温)塗料の耐摩耗性(100回転当たりの摩耗減量mg)は500以下でなければならない。
- ③ 1種(常温)塗料の加熱残分(質量分率%)は60以上でなければならない。
- ④ 2種(加熱)塗料の塗膜中の鉛の定量(質量分率%)は0.06以下でなければならない。

問31

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか

- ① 3種(熔融)塗料の密度は $2.3\text{g}/\text{cm}^3$ 以下でなければならない。
- ② 3種(熔融)塗料の耐アルカリ性は、排水性舗装及び路面凍結防止剤が散布された舗装のアルカリ性に対する試験である。
- ③ 3種1号(熔融)塗料のガラスビーズの含有量は20～23%でなければならない。
- ④ 3種(熔融)塗料の拡散反射率(%)(白のみ)は、80以上の性能が要求される。

問32

路面標示用ガラスビーズ(JIS R 3301:2014)に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① ガラスビーズの鉛含有量は $200\text{mg}/\text{kg}$ 以下でなければならない。
- ② 耐水性の低いガラスビーズは表面に曇りが生じやすく、再帰反射効果に影響を与える。
- ③ ガラスビーズの粒度分布は、塗料への散布の良否、固着強度、塗膜中への状態及び視認性などに影響を与える。
- ④ JIS規格外の高屈折率ガラスビーズは、特殊なチタン・バリウム系ガラスが用いられ、屈折率は1.64程度あり、理想的な再帰反射効果を発揮する。

問33

路面標示用塗料(JIS K 5665:2018)の施工に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 常温式工法では一般に原液で塗装するが、使用機械や気温などの影響から原液で施工できない場合は溶媒で希釈する。
- ② 常温式工法は加熱式工法よりも乾燥時間が長いため、交通の渋滞による混乱を招くおそれがあり、施工場所が限定される。
- ③ 熔融式工法にはスリット式、噴射式とフローコーター式があり、路面標示の種類、施工量、施工場所などの条件に応じて機種を選択する。
- ④ 熔融式工法では、顔料がよく分散するよう200℃以上の高温で長時間の攪拌(かくはん)を行い施工するのが良い。

問34

高視認性路面標示に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① リブ式路面標示は、凸部を設けることにより降雨時に水膜に覆われないようにして視認性を向上させたものである。
- ② リブ式路面標示は、リブ上を車両が通過する際に振動による注意喚起を与える効果もあるが、騒音の原因にもなるので注意する必要がある。
- ③ 非リブ式路面標示は、連続した横溝、縦溝を塗膜上に形成するものや塗膜表面を凹凸のある粗い面に仕上げたものがあり、水膜を排除し視認性を確保できる。
- ④ 全天候型路面標示は、粒径の異なるガラスビーズの混合物を塗膜表面に散布し、雨天時にも良好な再帰反射性能を発揮できる工法である。

問35

路面標示の点検・塗り替えに関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 積雪地域で融雪後毎年塗り直しが必要となる道路では、特に耐久性を考慮して工法を選択しなければならない。
- ② 全国の道路総延長は膨大な量となっており、路面標示の点検には多大な費用と時間を要する。
- ③ 路面標示の材料の種類が極めて多いことから、選択に当たっては強度、耐久性、効用などに十分注意しなければならない。
- ④ 点検項目として、剥離、汚れなどによる不鮮明部分の有無などがある。

問36

路面標示の塗り替え基準に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 剥離率の測定は、摩耗、剥離、劣化等による塗膜の欠損部分の割合を、全体画像から測定する。
- ② 色差の測定は、道路標示白色見本との色差 ΔE を測定する。
- ③ 熔融型の路面標示は、通常1.5mmから1.7mmの厚さで施工しており、舗装路面が露出している場合は、路面の不陸(凹凸)を考慮しても1mm前後は摩耗していることになる。
- ④ 目視評価ランク5の評価内容は「健全」であり、「標示全体が維持されており、摩耗が少なく、剥離が見られない」状態である。

問37

路面標示の耐久性に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 密粒舗装と排水性舗装の摩耗度の変化は、排水性舗装の方が早く摩耗が進んでいく傾向にある。
- ② 交通量による摩耗度の変化は、時間の経過と交通量に比例して摩耗が進んでいく傾向にある。
- ③ 調査項目としては、交通量による摩耗度の違い、舗装種別による違い、走行速度による違い、気象条件や積雪による影響などがある。
- ④ 耐久性調査を実施する際の調査箇所は、道路交通センサスの交通量が公表されているので、当該センサス対象路線から抽出することが望ましい。

問38

路面標示の消去及び標示調査の新技术に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 路面標示の消去は、作業時の騒音、振動、粉塵(ふんじん)の発生などの問題もあるので、路面の状況、道路環境、工費等を考慮して工法を選択する。
- ② ブラスト工法は、比較的大型で特殊な設備を必要とするが、短期間で行えるので、施工費用は低く抑えることができる。
- ③ 路面標示の調査技術は、撮影や解析技術等の進歩により様々な手法が開発され、作業員が安全で効率的に、かつ定量的に調査が行える技術開発が始まっている。
- ④ 従来の路面標示の塗り替え調査では、調査員の主観に左右されることが多く、調査結果のばらつきが指摘されている。

問39

法定外表示等の設置に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 法定外表示には、「統一を図る法定外表示」、「標準仕様を定める法定外表示」、「標準運用を定めるカラー舗装」、「その他の法定外表示等」がある。
- ② 「ハンプ路面表示」は、車両進行方向のハンプすりつけ部に配置することとし、一方通行の道路においては、左寄りに路面表示を設置する。
- ③ 「交差点クロスマーク表示」は、中央線のない道路が交差する十字路又は丁字路交差点で、道路の交差が状況により不明確な場合に設置する。
- ④ 新たに法定外表示を考案、設置する場合には、一見してその意味するところが理解できるものであり、かつ、標識令等に基づく道路標識等の様式と類似の形態としてはならない。

問40

法定外表示等の設置に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか

- ① 「減速を促す路面表示」の色は、白又は黄色を用いる。
- ② 「普通自転車専用通行帯以外の自転車通行空間路面表示等」には、道路標示等の色(白・黄色)と同系色を使用しないこととする。
- ③ 標準運用を定めるカラー舗装には、「バスレーン関係のためのカラー舗装」や、「歩行者・自転車利用者等保護のためのカラー舗装」がある。
- ④ 「ドットライン表示」は、信号機のない交差点で車道外側線を交差点内まで延長し、交差点の存在や車両の通行部分を明示することが望ましい場合に設置される。